

第1回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議 会議録

日時 令和8年3月11日（水）10時00分から11時42分
場所 周南市役所 庁議室
出席者 ・委員10名
榑原 弘之、河野 拓也、鶴田 来美、稲垣 円、桐生 智晃
山本 佐智子、西崎 博史、松本 久美子、原田 宗隆、児玉 真
・事務局5名
企画部長 川口 洋司、企画部次長 柿並 裕司、
企画課市民館跡地利活用推進室
室長 中村 成孝、室長補佐 丁田 純、主査 近松 昌哉
・株式会社シアターワークショップ 伊東、古川
資料 ・会議次第のとおり

会議録

1 開会

◇事務局 定刻となりましたので、ただ今から、第1回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議 を開催いたします。
本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。
本日の進行を務めます、周南市企画課の中村と申します。よろしく願いいたします。
本日の会議は10名全員の委員の皆様にご出席いただいております。

2 市長あいさつ

◇事務局 それでは会議に先立ちまして、周南市長 藤井律子より、皆様にごあいさつを申し上げます。

市長 皆様、おはようございます。周南市長の藤井律子でございます。
皆様方には、いつも、本市のまちづくりや市政運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
また、このたびは、「市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議の委員」に快く、ご就任いただき、誠にありがとうございます。
前回に引き続き、ご就任いただいた皆様、また、この度、新たにご就任いただいた、鶴田先生、山本先生、どうぞよろしく願いいたします。
様々な分野でご活躍されております皆様に、委員として、ご就任いただきましたこと、大変心強く感じております。

私は、令和8年度の施政方針で、まちづくりの新たなコンセプトとして「ブレイクスルー思考」を掲げました。

このブレイクスルー思考とは、将来のあるべき姿から逆算して、今、「私たちは何をすべきか」、「何をしなければならないか」という施策を考えるものです。

現在、抱えている課題を解決するためには、これまでの常識を打ち破り、そして新たな価値の創造をすることで、飛躍的な進展に向かっていきたいと思っています。

文化小ホールや子育て支援機能を始めとした、市民館跡地エリアの整備は、まちの機能を高め、シビックプライドを醸成し、その結果、若者に選ばれる街になり、ブレイクスルーの理念を体現する事業になると確信しております。

そのためにも本エリアが賑わいを創出し、人を引き寄せ、記憶に残る、魅力的な街のシンボルとなるよう、その土台となる構想・計画をしっかりと策定することが、今、最も重要ではないかと思えます。

本有識者検討会議は、5回程度開催する予定としております。委員の皆様におかれましては、前回までに引き続き、豊富なご経験や専門的な知見による活発な議論を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

3 委員自己紹介

◇事務局 続きまして、委員の自己紹介に移ります。
(各委員による自己紹介)

4 会長、副会長の選出

◇事務局 それでは次に、会長、副会長の選出を行います。会長、副会長につきましては、有識者検討会議設置要綱第5条で、「検討会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。」

とされておりますので、皆さまの互選により、会長・副会長を選出したいと存じます。どなたか、ご意見はございますか。

●委員 事務局でお考えがあればお願いします。

◇事務局 それでは事務局から、会長及び副会長をご提案させていただきます。

会長につきましては、山口大学大学院の榊原委員、副会長に徳山工業高等専門学校の河野委員にお願いしたいと存じますが、承認いただける方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

◇事務局 皆様の承認により、会長に榊原委員、副会長に河野委員が選出されました。ここで、会長と副会長より一言ごあいさつをお願いします。

(会長、副会長あいさつ)

◇事務局 ありがとうございます。

これより質疑に移りますが、その前に今回、有識者検討会議を再開することになりました経緯につきまして、事務局より簡単にご説明させていただきます。

◇事務局 それではご説明いたします。

昨年度まで、全4回にわたり、委員の皆さまの豊富なご経験や専門的な知見により、活発な議論をいただいたところでしたが、文化会館の改修、さらには山口銀行の関心表明といった、前提条件が大きく変わるできごとが重なり、文化小ホールの基本構想・基本計画については「中間報告」をもって、有識者検討会議を一旦閉じることになりました。

その後、国や山口銀行との協議を含め、必要な検討は続けてまいりましたが、昨年7月に、国の合同庁舎の事業化が大きく進展したことから、本市もそのスピード感に合わせて、山口銀行も含めた施設や、周辺を含めたエリア全体に対する現状や考え方を再整理し、文化小ホールの整備も含めて計画を再開する運びとなりました。

皆様におかれましては、委員に就任いただきましたことに改めて感謝を申し上げますとともに、活発な議論を通じて、貴重なご意見等を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

5 議事:(1)これまでの検討経緯

◇事務局 それでは、これより「議事」に入ります。

これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長、どうぞよろしくお願いいたします。

◎会長 それでは、議長を務めさせていただきます。議事の進行について、皆様のご協力をお願いいたします。

本日は議事3件ございます。まず1つ目、これまでの検討経緯につきまして、事務局から説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ご説明ありがとうございます。これまでの検討経緯についてご説明いただきました。こちらについてご質問等あればお願いします。

●委員 (質問なし)

5 議事:(2)スケジュール

◎会長 それでは次の議事に移ります。スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 スケジュールについてご質問、ご意見あればどうぞ。

●委員 市民ワークショップについて、前回は踏まえ、今回こういったところに突っ込んでいきたいかお考えを聞かせていただきたい。何かアイデアがあれば。

◇事務局 前回から時間もそんなに経っているわけではなく、あれだけ多くの皆様に、ご参加いただいて多くの闊達なご意見をいただいた貴重な財産でございますので、それをしっかりと引き継いでいきたいというのがあります。

今回、エリアも広がったということもありますし、また前回、文化小ホールの基本構想・基本計画という形で協議をいただいている中で、保健センターをはじめとした子どもの居場所といいますか、若い人たちに重ね使いも含めて活用していただきたいという意見もたくさんいただいております。

ちょうどここは交通結節点として徳山駅より近く、高校生等の人流というのが非常に多いところでもありますので、高校生や大学生の意見をたくさん聞いてみたいという思いがありますので、ランダム抽出しました市民の皆様のご意見は、それはきっちり引き継ぎながら、高校生とか大学生にご意見を聞いていけたらなという思いを、事務局としては持っているところです。

●委員 以前、「来ない人」のヒアリングをしたことがあり、おもしろかった。「来ない人」の意見を聞く機会を作られてみてはどうかと思います。

◇事務局 今回新たにオープンハウスの手法を導入します。いろいろな世代が訪れるであろうということを想定しまして、3月中旬に動物園で行います。その後もこのオープンハウスをやっていきたいと思っています。

◎会長 ワークショップについて思うのは、今回中断した経緯があるので前のワークショップの結果を大事にしていきたい。また、ワークショップをやる前に戦略をいろいろ考えられた方がいいのかなと思います。

●委員 文化会館の改修スケジュールは固まっていますか。

◇事務局 こちらで把握しているのは令和9、10年度での整備。

●委員 令和9年2月から休館し、令和11年5月にオープンの予定です。

◎会長 今回はタイトなスケジュール。8年度の前半でとりまとめ、具体化に向けて進むと受け取ってよろしいか。

◇事務局 基本的な機能であるだとか、ある程度方向性は継承していき、そこをベースにしながら、このスケジュールで進めていきたいと思っています。

5 議事:(3)市民館跡地エリア整備の基本的な考え方について

◎会長 3つ目の議題、市民館跡地エリア整備の基本的な考え方について、説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に、エリアコンセプトまで説明)

◎会長 こちらについて、ご質問、ご意見等お願いします。

●委員 前提条件の整理のP24の部分で、西京銀行さんの新しいホールを追加した方がいいのではと思います。P27に機能分担が書いてはいますが、それができるとでなぜ今回の文化小ホールが必要なのかという議論になってくると思うので、それも踏まえて情報として入れておいたほうが良いと思います。

- ◇事務局 ご意見ありがとうございます。西京銀行のホールについては公表されていない部分もあるので、相談してみたいと思います。
- ◎会長 民間施設ではありますが、要素として入れた方がいいのではと思います。
- 委員 文化会館は改修を機に、何か新機能が入るのですか。
- 委員 元々改修が始まった経緯は吊り天井の耐震化であり、新たな機能導入の予定はありません。
- 委員 P22の社会的潮流で、動員数の回復が数字上は出ているが、業界内ではそう思われていない。令和4年以降の2年間の市場規模や公演回数の規模は調べていますか。
- ◇事務局 時点更新はしています。
- 委員 個人的な印象として、公演回数があまり上がっていない。つまり、大規模で集客力があるものが突出してきており、文化芸術の根にある日常的な少人数のものが回復していないおそれがあります。公演回数が意外と戻っておらず、それによって、新施設でやるべき事業や考え方が変わってくると思います。
- ◎会長 基本構想・基本計画の方向性や、この施設の必要性について関わること。すそ野の拡大を意識するのであれば入れた方がいいので、確認をお願いしたい。
 そもそもこれは周南市のデータですか。
- ◇事務局 ライブ・エンタテインメント白書の内容で、全国のものになります。
- 委員 私も実際思うのが数字と違う実態で、二極分化が起こっている印象で、地方都市の劇場は衰退傾向。劇場ができて補助がなくなる10年を境に落ちていく。建物に魂を入れ、劇場を機能させるために、地域の実態を把握し、ネットワークを作る力を劇場が持ち、コーディネートできる力が求められます。
 劇場はいろいろな機能が発揮できた時に、初めていきいきとします。
- 副会長 P26, 27の資料は今までの会議をよくまとめていると感じました。
 前回の市民ワークショップに5回参加させていただき、文化は場所じゃなくて人が作るものだと感じました。要は自分たちがどう使うかが「自分事化」されていて、地域にホールを求めて使いたいという市民がたくさんいたことが分かったので、市民が自分たちで使う下ごしらえをする準備期間も設けたほうがいいと思います。
 施設を造ることも大事ですが、キープレイヤーを育てていく活動も必要で、こうしたワークショップに参加してもらい、自分事にする仕掛けがあればいいと思います。
- ◎会長 空間配置で2件聞きたい。P12の立体駐車場と市の施設の間にある水色の部分は通路ですか。
 また、山口銀行まで入ることで自由度が高まるのか、逆に窮屈になるのか。

◇事務局 水色部分については、今後市と民間施設の規模が決まり、ウォークアブルなまちづくり推進協議会からの意見も聞き、最終的に決めたいと思います。

また、自由度については、基本的に面積が広がることにより自由度が上がると考えるので、既存の建物がある中で、今後の工事についての問題をクリアしながら、整備の検討をしてみたいです。

◎会長 ありがとうございます。

それでは導入機能の整理について、説明をお願いします。

◇事務局 (資料に基づいて説明)

◎会長 中間報告で役割・機能が8つ整理されていたことについて、例示も含めて説明がありました。

こうした機能を発揮するにあたり、ソフト的な要素もこの会議のどこかのタイミングで議論されるということでしょうか。

◇事務局 ソフトについて、各担当課も含めて一緒に考える場をつくっていききたいと思います。

●委員 避難所機能について、防災拠点としての役割の考えがあるかどうかお聞きしたいのと、避難所と避難場所で機能が違うので、もう少し検討が必要と思うがいかがでしょうか。

◇事務局 現在の保健センターは避難所に指定されていますが、新施設がどうした役割を担うかは防災担当課と詰めていきます。

国も災害時の庁舎開放も検討できると聞いていますので、それぞれの役割についてもこれから調整してみたいです。

●委員 事業の集客などで、人口減少、少子高齢化の影響を、前回の会議以降さらに感じるようになりました。今後どれぐらい影響を受けるか、気になり、不安に感じるところがあります。

◎会長 あらゆる市民活動で後継者がいないとよく聞くので、今回の施設整備により、どれほど市民の活動をサポートしていけるかという視点を盛り込むことができますか。

◇事務局 エリアコンセプトの中にもあった「つながり」というところで、少子高齢化の中、多機能なこの場所で多くの人に刺激を受けてもらい、新たな発見をし、つながりを持っていただくことがまちの魅力に繋がっていくと思っています。しっかりと伴走し、ベースを作り、つながりや継承の場としたい。

●委員 文化協会も毎年100人ぐらい減っており、中心が70～80代の方。社会の事情も変わり企業の支援もない中で、自ら主体的に取り組んでいる。市民館跡地のホールは非常に大切な拠点となりうるし、最後のチャンスだと思います。

少子高齢化を認識したうえで、新しい施設をいかに有効にしていくか、まちづくりの次の分岐点として取り組まないといけないと感じているところです。

●委員 今回初めて会議に参加するのですが、周南市は広いと思いますが、具体的なターゲットの地区などはあるのですか。

◇事務局 複合施設なので、いろいろな利用を考えています。

例えば保健センターが入るので、多世代の方が利用されますし、現在も相談や健康診断、市民活動として利用していただいているところです。

また、母子保健の拠点でもあるので、小さなお子様連れやお子様自身も来られています。

文化活動の拠点もつくってまいりますので、前回の中間報告でも団体ヒアリング等させていただいていますが、現在活動中の皆様にもぜひ使っていただきたいと考えています。

また多くの若い方、特に高校生が徳山駅にも集まっていることや、ウォーカブルなまちづくりということで県の整備事業でここまでの動線をしっかり作って、繋がりのあるものにしていきたい。この複合型の多機能ということで、あらゆる世代のたくさんの方が目的を持って集まっていたらいいなと思っているので、ソフト事業をしっかり組み立て、それぞれの目的を持って集まる皆様が繋がっていけるような仕組みづくりをしっかりと考えてまいります。

●委員 周南のように広い都市は、子育てや子どもの居場所といった日常的な活動で市全域から集まるのは難しい。中心地にあるこの場所が機能するには2つ考えられる。

1つはモデルを作ること。いいモデルを作り、周辺でまねできるようにし、そこにノウハウを持つ人材を作る。

もう一つは、こちらから遠方に行くアウトリーチの「基地」になること。

それらを視野に事業を考えていく。そのためには、ハードは必要と思います。

◎会長 人口減少の側面や、中心地と郊外との関係など、ハードとソフト両方の機能が必要で、今日はハード中心の議論でしたが、ソフト面もこれから考えていく必要があるので、今後、事務局においても資料の準備をお願いしたい。

○副会長 今回新たに山口銀行さんが入ることで、建物や人流のボリュームの情報提供や、山口銀行さんがどういった建物を建てたいのか、先方の話を聞いた方がいいのかなと考えます。国や山口銀行さんとの連携が、この会議でどのようにリンクしますか。

◇事務局 今後も国の情報提供や山口銀行さんとの話をしっかり進めてまいります。景観についても、我々も参加して足並みをそろえたい。

●委員 景観について、ゴヨウマツ、児玉神社、児玉公園との一体感がこの資料から読み取れた。素晴らしいことで、いろいろな事業の連携ができる。

周南はおしゃれなまち。その魅力をさらにグレードアップできると思います。

◎会長 ウォーカブルなど、いろいろなものが連動できればいいと思います。

いろいろなご意見をいただき、ありがとうございます。

6 その他

- ◇事務局 皆様、お疲れさまでした。
- 本日の会議の内容につきましては、議事録を作成し、皆様にご確認いただいた上で、市のホームページに掲載させていただきます。
- また、次回の開催は5月を予定しております。
- 開催日時、場所については、調整の上、後日お知らせいたします。
- 日程調整のお願いをメールでお送りしますので、お手数をお掛けしますが、今回同様専用フォームでご回答いただきますよう、お願いいたします。
- なお、会議の公開の取扱いですが、今後も基本的に公開で行いたいと考えておりますが、よろしいでしょうか？

(一同了承)

それでは、原則公開を進めてまいります。

今後テーマ次第では、より活発な議論をしていただくため、公開か非公開かを、必要に応じて、委員の皆様のご意見をお聞きしながら、決めてまいりたいと考えておりますので、よろしくごお願いいたします。

事務局からは、以上です。

- ◎会長 それではすべての予定を終了しました。
- 10月をめどにということで、2か月に1回の開催を予定しています。周南市の今後のまちづくりにとっても重要なプロジェクトなので、今後もしっかり議論できればと思いますので、よろしくご願います。
- それでは進行を事務局にお返しします。

7 閉会

- ◇事務局 本日はありがとうございました。
- 以上をもちまして、「第1回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。